



新産業と匠の技が融合する
イノベーションモデル都市に向けて

大田区の企業立地のご案内



23区で最大の面積を誇る大田区は、多種多様な楽しみ方ができます。東京の縮図とも言われ、高い技術力を持った町工場、賑わいのある商店街、閑静な住宅街や自然が広がる緑地など、多彩な顔を持つユニークなまちです。

大田区ならではの「見る」楽しみ、羽根つき餃子や飲み屋街で「食べる」楽しみ、飛行機や電車、四季を感じながら「撮る」楽しみなど、自分だけのユニークな大田区の楽しみ方を見つけてください。



大田区公式PRキャラクター
「はねびょん」

大田区産業プラザ (PiO)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田一丁目20番20号

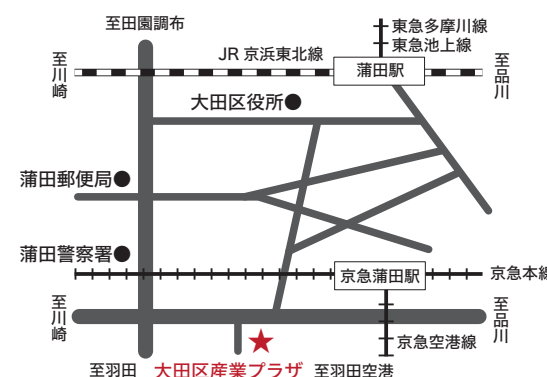


京浜急行線、空港線

「京急蒲田駅」東口から徒歩約3分

JR 京浜東北線、東急多摩川線、池上線

「蒲田駅」東口から徒歩約13分



問い合わせ先



大田区 産業経済部 産業振興課 (工業)

TEL: 03-5744-1376 FAX: 03-6424-8233

E-mail: kogyo@city.ota.tokyo.jp

〒144-0035 大田区南蒲田一丁目20番20号



令和7年3月発行

大田区が約束する『優れた立地環境』

大田区が提案する『ものづくり環境』



大田区での 操業をおすすめします！

大田区長 鈴木 晶雅

大田区は、ものづくりのまちとして、確かな技術力を誇る中小企業が多数集積する地域です。特に金属加工や精密加工といった分野での高い技術力が国内外で評価されており、日本の製造業を支えています。

また、大田区は交通の要所としての優れた立地環境も備えています。羽田空港をはじめとする国内外へのアクセスの良さは、企業のビジネス展開をさらに加速させることでしょう。

大田区では、ものづくりに最適な産業支援施設や手厚いサポート体制、多様なビジネスマッチングの機会提供など、企業の成長ステージに合わせて強力にバックアップいたします。

ものづくり企業の未来を共に切り拓くパートナーとして、これからも新たな挑戦を歓迎し、事業が一層発展する環境を提供してまいります。ぜひ、この素晴らしい環境を活かしていただき、事業の新たなステージと一緒に創造していきましょう。

大田区の概要



大田区は、東京都の南東部に位置し、東京 23 区の中でも規模の大きい自治体です。

人口 (うち外国人) **740,519 人**
面積 **32,041 人**
世帯数 **61.86 km² (23 区内 1 位)**
418,230 世帯

令和 7 年 1 月 1 日現在



大田区公式 PR キャラクター
「はねびょん」(町工場バージョン)



南は多摩川、東は東京湾に面し、交通の要所となっています。羽田空港が所在する臨海部から、田園調布などの高級住宅地がある内陸部まで、バラエティに富んだ地域です。



東京 23 区で一番商店街の数が多く、たくさんの人でにぎわいます。区中心である蒲田は、下町情緒あふれる居酒屋や、餃子やとんかつなど、B 級グルメのまちとして知られています。



東京 23 区で一番銭湯が多いのも特徴です。淡褐色や黒褐色の「黒湯(くろゆ)」と呼ばれる温泉が広く分布し、古くから銭湯で利用されています。

大田区のものづくりの特徴

大田区は、現在約 3,500 の製造業の事業所(令和 3 年度経済センサス)が集積している、日本有数のものづくりのまちです。従業員数が 9 人以下の企業が約 7 割を占めており、多くが中小規模の事業者になります。

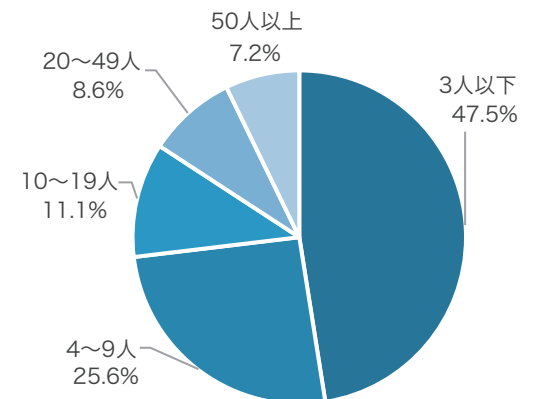
中心となる製造領域は、『基盤技術』と呼ばれるものづくりの基礎となるもので、切削、プレス、成型、研磨、鋳造、鍛造、メッキなどの金属加工分野になります。製造工程の各領域で細分化、特化していることが、高い専門性と技術力につながっています。さらに、各工程の企業が緊密に連携し合うことで、高精度で複合的な加工技術と、短納期を実現していることが強みとなっています。

多品種少量生産で、試作や研究開発分野にも長けています。最近では、航空宇宙や電子機器など新しい分野にも参入しており、スタートアップとの協業による事例も増えてきました。

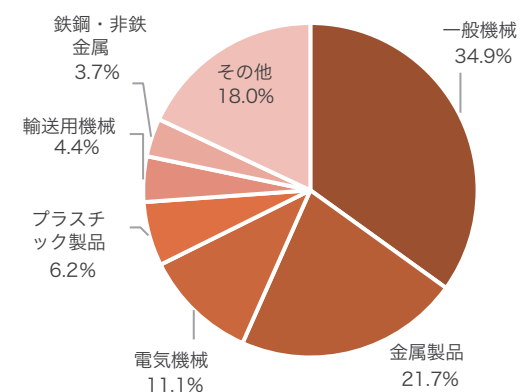
難しい課題にも果敢に取り組む職人気質と、みんなで解決策を出し合う地域のネットワークにより、多くの取引先にとって、多様なアイデアを形にする、頼もしいパートナーとなっています。

現在「SDGs 未来都市」でめざす、「新産業と匠の技の融合によるイノベーションモデル都市」のさらなる推進に向けて、官民一体となって取り組んでいるところです。

従業員規模による事業所数の割合



主要業種別の事業所数の割合



令和元年度大田区ものづくり産業等実態調査

大田区の産業政策

大田区産業振興ビジョン

令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間の大田区産業振興の目指すべき姿や方向性についてまとめています。区内企業の自立(自律)的な取組みを支援していくために、「変革」・「集積」・「連携」を 3 つの柱として掲げています。

産業振興により区内産業が活性化されることで、区内企業の雇用が創出され、街に賑わいをもたらし、区民生活が向上されるという好循環が創出され、「稼ぐ力を創出し、豊かな地域経済が未来に引き継がれるまち」を目指していきます。

大田区における SDGs の取組み

大田区は、SDGs の達成に向けて優れた取組みを提案する都市として、内閣府から令和 5 年度の「SDGs 未来都市」に選定されました。また、その中でも特に優れた先導的な取組みを行う「自治体 SDGs モデル事業」にも選定されています。



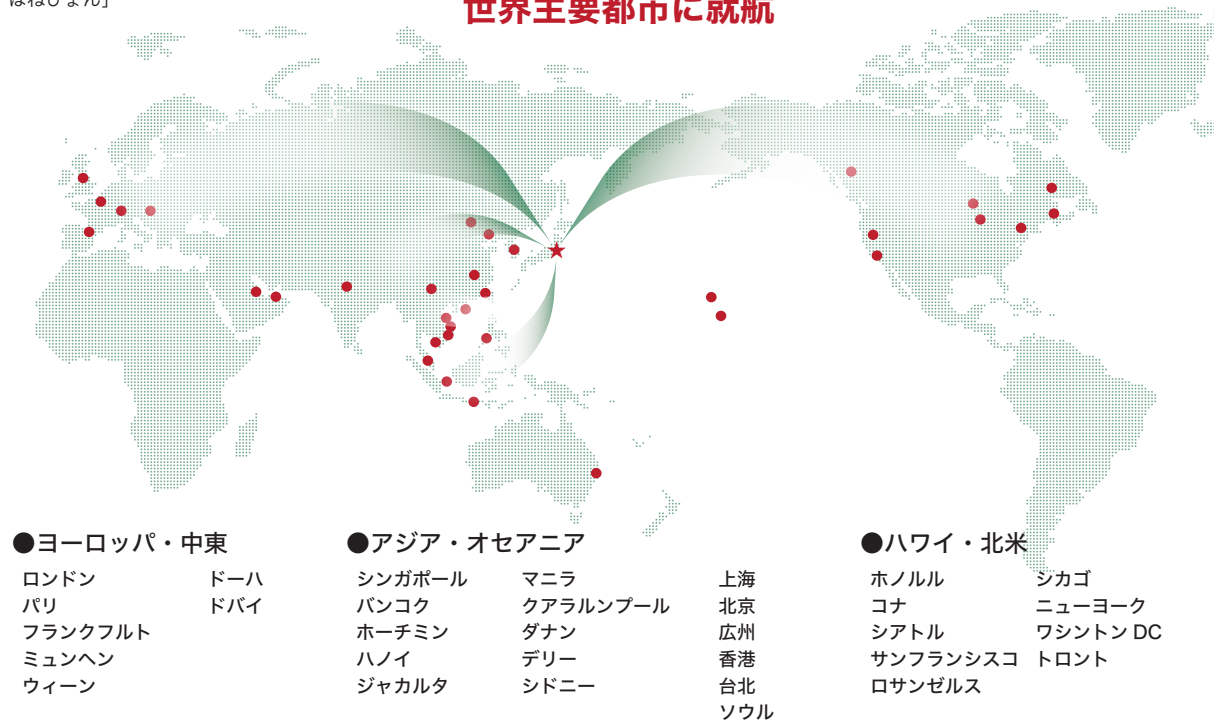
大田区でものづくりをするメリット

羽田空港から至近。都心からのアクセスも抜群



東京国際空港（羽田空港）は、国内線と国際線をあわせ、年間 8,188 万人（令和 5 年度）の旅客数がある世界でも有数の空港であり、国内外の各地とつながる日本の玄関口です。2010 年の再拡張以降、国内外のハブ空港としての機能を拡充してきました。また、国際的なビジネス展開で活躍の進む、ビジネスジェットの離発着の利用時間についても、24 時間可能になっているなど、ビジネスに利用しやすい空港です。

世界主要都市に就航



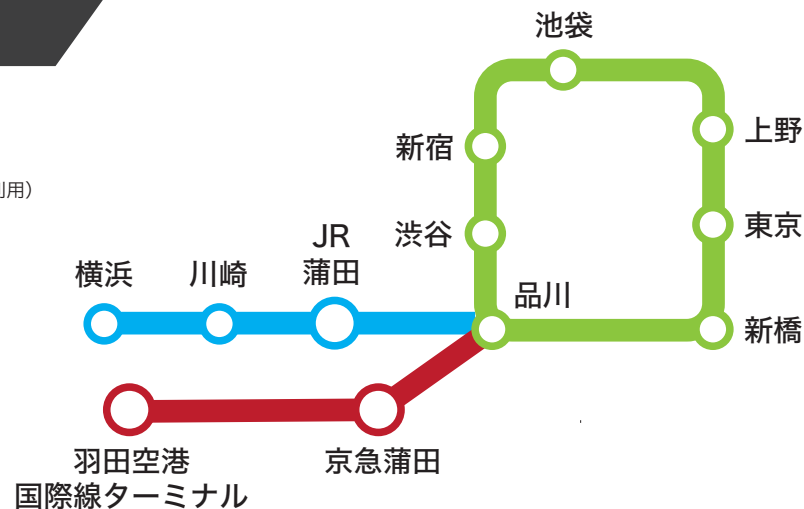
国内線	年間旅客数…… 6,184万人	国際線	年間旅客数…… 2,004万人	航空需要	世界の空港別旅客数ランキング……… 5位 訪日外国人旅行者数 …………… 2,507万人 (令和5年)
国内線+国際線 8,188万人 (令和5年度)			(出典:日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数」)		

今後も、欧米や長距離アジアも含めた高需要・ビジネス路線が展開され、羽田空港の充実した国内線ネットワークを活かして、国際線と国内線の乗り継ぎ拠点としてのハブ機能が強化されていきます。

蒲田エリアからの所要時間

品川駅まで	約 6 分	(京急本線・快特利用)
東京駅まで	約 20分	(京浜東北線・快速利用)
新宿駅まで	約 35分	(京急本線・快特+JR山手線利用)
横浜駅まで	約 11分	(京急本線・快特利用)
羽田空港		
国際線ターミナル駅まで	約 8 分	(京急空港線利用)

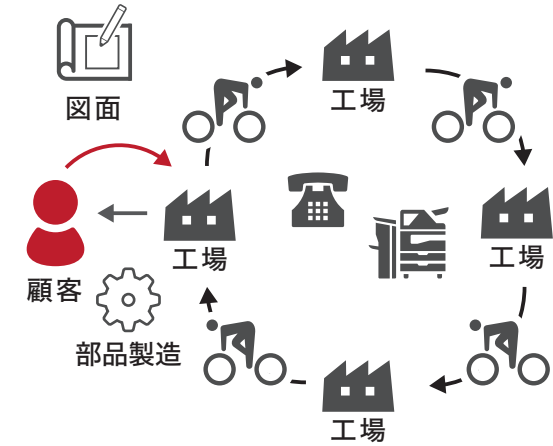
※ダイヤ等改正により時間が変わる可能性があります。



大田区独自のものづくりネットワーク

大田区の製造業では、地域内での協力と情報共有の文化から生まれた独自のネットワークがあります。多くの中小企業が集まる工業地帯として発展していく中での相互協力が築きあげたもので、仕事の受注や納期調整、さらには技術的なノウハウを共有しています。

具体的にはハブとなる企業が顧客から依頼を受けた際に、自社では「切削」作業しかできなくても、「穴あけができる工場」「研磨ができる工場」といった近くの工場に工程をまわして、発注された製品を納品するといった対応です。個々の企業が独自性を持ちながらも密接に連携し合うこのネットワークは、競争と協力のバランスを保ちながら地域経済を支える重要な要素となっています。



大田区産業プラザを中心とした手厚い支援体制



大田区産業プラザ^{ピオ}（PiO）

京浜急行線京急蒲田駅から徒歩 3 分という好立地にあり、大田区での起業や操業などに関する様々な支援事業をワンストップで提供する施設です。

大田区産業プラザには、大田区産業振興課、公益財団法人大田区産業振興協会があるほか、産業支援団体等が数多く入居しています。

これらの支援機関は、区内企業への支援として、新規顧客の開拓、海外展開、商談会・展示会への出展、機器利用などの多彩な活動をしています。

大田区産業プラザ内には、1,600 平方メートルの大展示ホールや、情報・AV 設備が充実した特別会議室、大規模な商談会等が開催できるコンベンションホールなどが備わっており、海外からの利用や、全国規模のイベントにも活用されています。

※令和 7 年～9 年までは、産業プラザは大規模改修の予定です。大規模展示ホールをはじめとした施設の活用を検討されている方は、最新情報をご確認ください。

■大田区産業プラザ内の産業支援団体 ※令和 7 年 3 月現在

大田区産業経済部産業振興課	公益財団法人大田区産業振興協会
一般社団法人大田工業連合会	東京信用保証協会 大田支店
一般社団法人大田観光協会	東京商工会議所 大田支部
大田区商店街連合会	蒲田工業協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	株式会社大田まちづくり公社
公益財団法人東京都中小企業振興公社 城南支社	

経営総合相談窓口^{ピオ}「PiO フロント」

大田区産業プラザ 1 階入口に、区内企業や大田区内で創業を考えている方を対象とする、各種ビジネス相談に応じる総合窓口「PiO フロント」を設置しています。

ここでは、大田区産業プラザ内の産業支援団体をはじめとした国や東京都等の支援機関窓口への橋渡しを行うほか、経営改善、技術・生産性の向上、知財の活用などの課題に対して資格・経験を有する専門家を派遣する「ビジネスサポートサービス」や、事業計画の策定、資金調達、販路拡大の方法など創業期の課題解決に向けて「創業相談」などを実施しています。



ものづくりに最適な地域特性と操業環境

仲池上地区、大森西地区

準工業地域で構成された地域で企業規模は小さい傾向があります。仲池上地区は、産業用機器製造業などが多く、大森西地区は、電子機械製造業などの集積があります。

下丸子矢口地区

多摩川沿いの矢口、下丸子地域には、計器やネジといった精密機械の工場が多く集まっています。一方、大規模な工場もこのエリアに集まっています。

六郷地区、萩中本羽田地区

多摩川河口の地域であり、京浜急行雑色駅の近くに区内有数の大規模な商店街があり、住宅と工場がそばにある地区です。機械金属加工の小規模な工場が多く集まっています。



【民間の工場アパート】

- 桂川精螺技術集積所
矢口三丁目 24 番

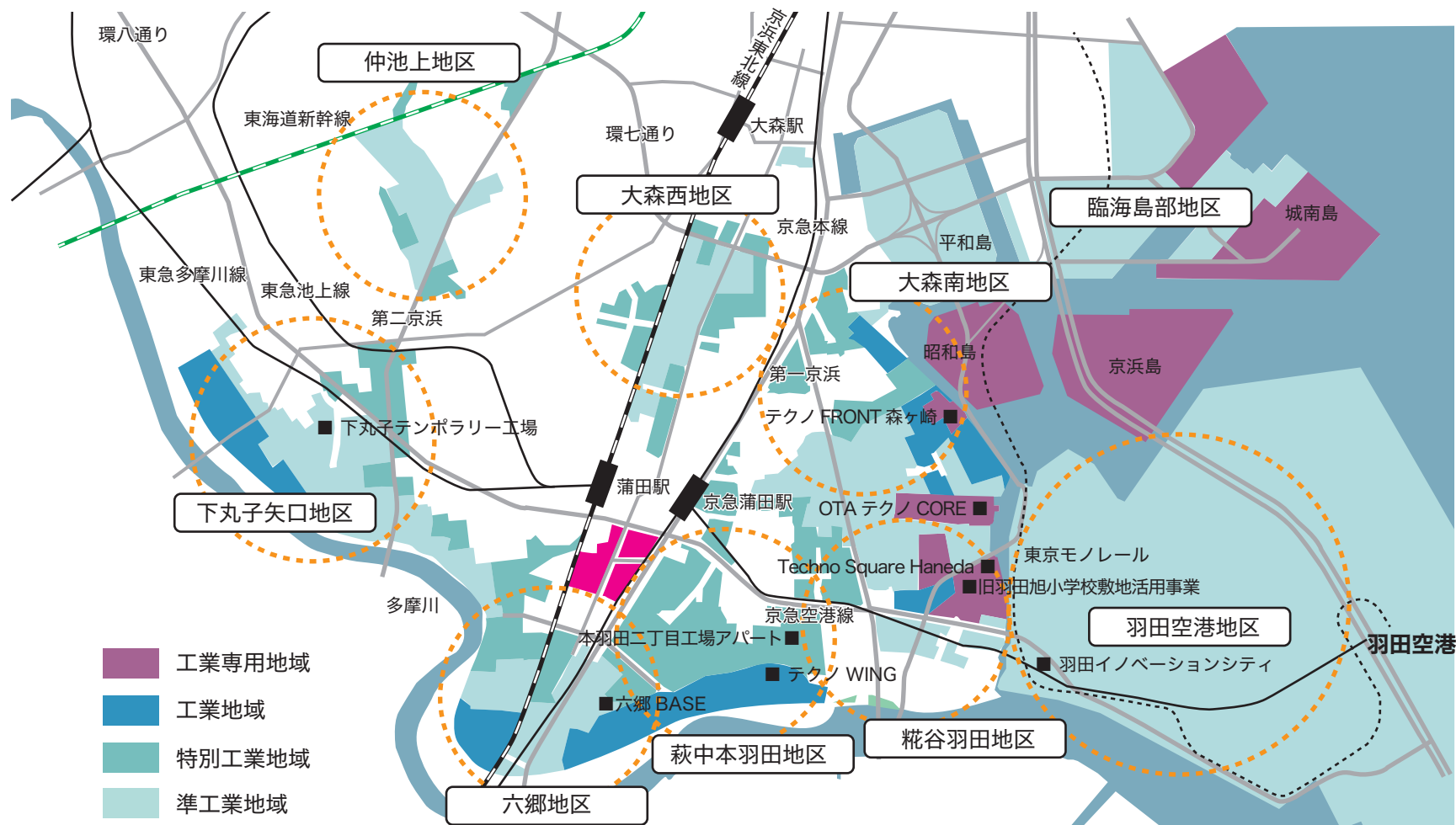
- innoba（イノバ）大田
仲六郷四丁目 32 番 6 号



・旧羽田旭小学校敷地活用事業



大田区は 23 区で一番大きな面積を有し、羽田空港や臨海部、田園調布などバラエティに富んだ地域で、それぞれのエリアに産業の特徴があります。また、住工調和を目的とした産業支援施設（工場アパート）や創業支援施設等があり、多様な企業ニーズにあわせた立地や施設の選択が可能です。



臨海島部地区

京浜島・城南島・昭和島といった埋立島部は、主に工業専用地域、準工業地域となっています。昭和 50 年頃の集団移転により、鋳鍛造、鉄工、塗装、めっきといった素形材・表面処理産業が多く立地しています。

蒲田駅周辺地区

区を中心商業地であるとともに、区役所などの公共施設が集積しています。蒲田駅・京急蒲田駅間は、区画整理による基盤整備がなされ、両駅を結ぶ大規模な商店街をはじめ、商業用地が集積しています。

羽田空港地区

日本の玄関口である東京国際空港（羽田空港）があり、国内外からの人や情報が行き交います。羽田空港沖合展開事業と再拡張事業で発生した土地を「HANEDA GLOBAL WINGS」と称し、「未来に向けて羽ばたくまちづくり」を推進するエリアとなっています。エリア内には、公民連携により開業した羽田イノベーションシティ (HICity) があります。

大森南地区、糀谷羽田地区

臨海部に接し、工業系の用途地域の面積が大きく、工場専用地域もあるため、比較的規模の大きい工場や物流施設が立地しています。

「つくと暮らすを一体に。」がコンセプト。工場アパートと共同住宅兼店舗を令和 9 年度に整備予定。

- 羽田旭町 7 番 1 号
- 京浜急行空港線
「穴守稲荷駅」より徒歩 7 分

企業の成長ステージに合わせた多様な産業施設等

従来分野の製造業はもちろん、幅広い産業分野の企業立地、誘致を推進しています。企業ごとの成長段階に合わせた施設、支援策を準備しています。

手厚い伴走支援が特徴

「大田区南六郷創業支援施設（六郷 BASE）」

ベース

大田区内における新規創業及び中小企業者の新分野進出の促進を図り、地域の特徴であるものづくり技術を活用して社会課題の解決を目指す創業希望者に活動の場を提供することを目的としたインキュベーション施設です。

- 住所
東京都大田区南六郷三丁目 10 番 16 号
(京急本線「六郷土手駅」「雑色駅」より徒歩 13 分)
- 階数
地上 3 階建て
 - 1 階 ドロップインエリア
(オープンスペース、ギャラリー、セミナールーム、試作室等)
 - 2 階 入居者専用フロア
(コワーキングスペース、シェアードオフィス 8 室、ミーティングルーム 4 部屋)
 - 3 階 入居者専用エリア
(オフィス 12 室、ミーティングルーム 2 部屋)
- 利用時間
10 時～18 時 (最終受付 17 時)※入居者は 24 時間 365 日利用可



創業環境の提供

安心して事業に取り組める環境をつくるコミュニティマネージャーと、起業・経営の専門知識を持つインキュベーションマネージャーが、起業を力強く支援します。

24 時間 365 日利用可能、登記ができる 3 つのスペース

コワーキングスペース・シェアードオフィス・オフィスの 3 つの種類のスペースを用意しています。どのスペースも 24 時間 365 日いつでも使用可能であり、時間を選ばず事業に集中できます。

起業・経営に役立つイベントを多数開催

アイデアの整理から資金調達、財務・労務知識まで、起業や経営に役立つセミナーや、起業家同士の交流会まで多様なイベントを開催しています。

ものづくりの支援

3Dプリンター・レーザーカッター・UV プリンターを備える試作室があり、試作開発で使うことが可能です。また機材だけではなく、アイデアをカタチに変えていく支援をする指導員が、イメージをどうやれば目に見えるカタチにできるのかを一緒に考えます。



入居者専用エリア (3 階) (オフィス・フリースペース)



コワーキングスペース (2 階)



試作室 (1 階)

新産業創造・発信拠点

「羽田イノベーションシティ (HICity)」

エイチアイシティ



様々な実証実験が行われるスマートシティ

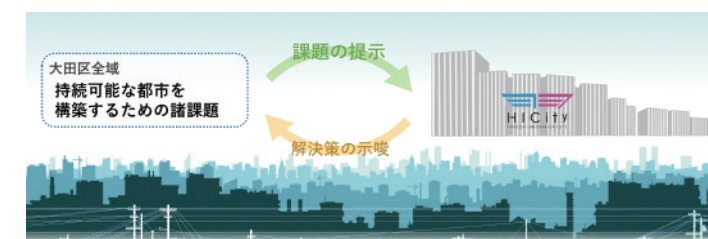
大田区では、羽田イノベーションシティにて解決が困難な社会課題に対する解決策を生み出すために、先端技術を活用した実験の場(テストベッド)となるスマートシティの構築に取り組んでいます。

換気量の自動制御による電気使用量削減や自動運転の取組など、羽田イノベーションシティから区内に展開する事例も生まれています。

羽田イノベーションシティは、大田区が羽田空港跡地第一ゾーン整備事業として、羽田みらい開発株式会社と公民連携によりまちづくりを進め、開業したまちです。

「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレーヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造するとともに、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信していきます。

- 住所
東京都大田区羽田空港一丁目 1 番 4 号
(京急空港線・東京モノレール「天空橋駅」直結)
- 階数
地上 10 階・地下 1 階



スマートシティとは
デジタル技術を活用して、都市インフラ・施設や運営業務等を最適化し、企業や生活者の利便性・快適性の向上を目指す都市。

交流・情報発信拠点

区施策活用スペース HANEDA×PiO (ハネダピオ)

「HANEDA×PiO (ハネダピオ)」は、羽田イノベーションシティの ZoneK 1・2 階に位置する大田区が設置したイノベーション拠点です。

コワーキングスペースやイベントスペースの機能があり、交流からイノベーションを創出するためのスペース「PiO PARK」(交流空間)と企業等が入居するテナントゾーンがあり、成長段階に応じての利用が可能です。



テナントゾーン

テナントゾーンには、17 区画のオフィススペース (1 ユニット 100～200 m²程度) を整備しています。

HANEDA×PiO 設置の目的及び理念に共感するとともに、羽田イノベーションシティ全体や地域と協働し、社会課題の解決や新たなチャレンジに取り組む企業等が入居しています。



PiO PARK (ピオパーク)

PiO PARK には登録もできるコワーキングスペースや交流から新たなビジネスを創出するイベントスペース、製品や技術を展示するショーケースエリアがあります。

明るくオープンな空間で、多様なイベントが開催される場となっており、さまざまな人が出会い、交流することにより新しい価値やイノベーションの創出を促します。



企業立地のための手厚い伴走支援

大田区で操業する企業への助成

大田区には豊富な立地助成メニューがあります。工場移転や新增設、建物付帯整備といった製造業、研究開発企業向けの助成に加え、工場アパートの建設にかかる費用についても支援します。

大田区企業立地・SDGs 促進助成金



- 目的
大田区の産業集積の維持発展及び区内企業の持続的な経営を促進
- 対象者
・1年以上同一業種を営む中小企業者で製造業または研究開発企業
・貸工場経営者
- 対象事業
50万円以上の工事等
- 対象経費
(1) 新增設または移転 (2) 脱炭素化または生産性向上に寄与する建物付帯設備の整備
- 補助率
1／3
- 補助限度額
・製造業、貸工場経営者：1,000万円
・研究開発企業等（ファブレス企業含む）：500万円

ものづくり企業立地継続補助金



- 目的
周辺環境及び近隣住民への配慮するため、防音・防臭・防振等を目的とした改修事業等に係る経費を助成します。※条件により対象とならない地域があります。
- 対象者
・区内に本社又は事業所の登記があり、東京都内で1年以上操業している製造業又は機械修理業の中小企業者
・区外（東京都内）で1年以上継続して操業し、区内に移転する製造業又は機械修理業の中小企業者
- 対象事業
100万円以上の工事
- 対象経費
防音・防臭・防振等となる改修・移転、周辺環境に配慮した外観の美化、緑道の整備（新增築は除く）
- 補助率
3／4
- 補助限度額
375万円

大田区工場アパート立地助成金



民設民営の工場アパート建設促進のため、工場アパートの新增設等に対して工事費等の1／4、最大5億円を助成します。一括交付対象となるのは下記いずれかの工場アパートとなります。

- 集合型工場アパート
工場アパートのうち、所有者が入居しないもの
- 地域中核工場アパート
企業間の連携を目的とし、自社の工場に貸工場を併設させたもの

大田区独自のきめ細かな
企業立地支援（物件探しのサポート）

大田区では、一般財団法人日本立地センターと連携し、製造業の方が貸工場・工場用地をお探しの場合に、物件探しのサポートを行っています。

日本立地センターは、不動産会社や開発事業者などから、物件情報を収集し、立地相談者と不動産物件のマッチングを行います。

相談
対象

大田区内に移転・新設を希望する製造業の事業者
（基本的に「製造工場」や「研究施設」が対象となります。）

相談フロー



- ①大田区HPから「立地相談シート」をダウンロードして、物件の要望を記載し、大田区に申請してください。
- ②大田区を通じて、日本立地センターに依頼します。
- ③日本立地センターの産業立地推進員が立地相談者様に直接伺い、土地・建物等のご要望について、詳しくヒアリングをします。
- ④ご要望に沿って、不動産事業者等に物件の情報収集を実施します。
- ⑤収集した物件情報を提供し、物件のマッチングを実施し、現地案内を行います。
- ⑥物件の交渉については、直接していただき、契約締結へと至ります。



【相談事例】

■A社（大手食品製造業）
生産拡大のため、工場が立地可能なエリアで、羽田空港から近い用地を探している。
希望エリア：羽田空港から近いエリア 希望面積：500坪程度
⇒京浜島・昭和島・城南島等の民間物件を確認し、情報をご提供し成約・立地。

■B社（中堅情報通信機械器具製造業）
工場が老朽化し周辺の住宅化が進んだため、操業しやすい環境の用地を探している。
希望エリア：六郷・糀谷・羽田エリア 希望面積：100～150坪程度
⇒民間物件を調査し、物件情報をご提供し、成約・立地。

■C社（大田区内金属加工業）
周辺に住宅が増えて操業しづらい環境になり、従業員の通勤もあり近隣で工場用地を探している。
居抜き物件も可。
希望エリア：大森南地区 希望面積：50坪程度
⇒貸し工場（区・民間）の情報を提供し、民間の工場アパートで成約・立地。

【注意事項】

- 本事業において取扱う不動産情報は、大田区内に存在するものに限ります。
- 立地相談者と情報提供者である不動産事業者等との間の連絡調整、交渉、契約その他の行為については当事者間で直接行っていただきます。
- 立地相談者に対し、希望に応じた不動産情報の提供を担保するものではありません。

製品開発や営業活動をサポート

大田区では、外郭団体の公益財団法人大田区産業振興協会が中心となり、製品・サービスの開発や営業・販売促進などの経営活動をサポートしています。

新製品・新技術の開発に関する各種助成金

区内中小企業が取組む新製品・新技術の開発について、開発段階に応じて必要となる経費の一部を助成します。

トライアル助成

企画・設計前の市場調査に関する取組みであり、次のステップへ進むと見込むもの

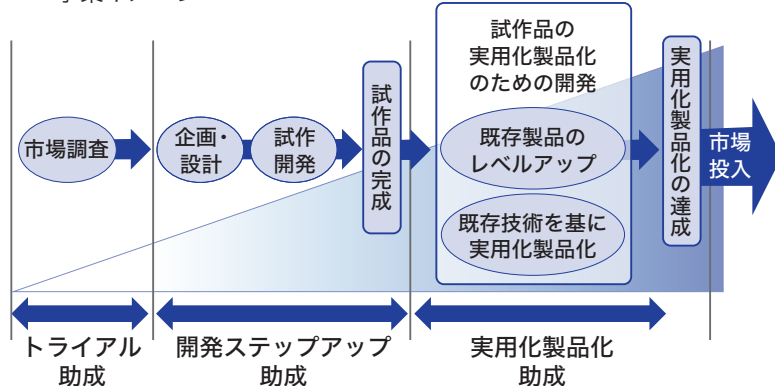
開発ステップアップ助成

企画・設計から試作開発までの取組みであり、期間内に「試作品の完成」を見込むもの

実用化製品化助成

試作開発が終了した製品・技術そのものの付加価値を高める開発であり、期間内に「実用化製品化の達成（製品の完成等）」及び助成期間終了後1年以内に市場投入を見込むもの

～事業イメージ～



区内企業の豊富な情報・ネットワークを活かした 受発注・研究開発相談

加工・製造の外注先や共同研究先をお探しの方には、区内企業を中心に無料でご紹介いたします。

区内には優れた技術を持つ中小企業が集積しているため、研究開発から製品開発、難加工など、多様なご要望にお応えすることができます。専門知識を持つ職員・相談員が、区内企業約3,500社を巡回訪問して情報を収集し、その情報をデータベースに登録。その中から、最適な企業をご紹介します。

企業と連携
したい場合

Step
1
相談



職員・相談員に相談

専門的な知識で随時対応します

Step
2
紹介



最適な企業を紹介

希望内容に合わせてマッチング

Step
3
交渉



直接商談

紹介した企業と直接交渉

仕事を受けた
い場合

区内企業で、取引先の廃業による仕事の減少、新たな分野の開拓など、様々な理由で仕事を受けた場合は、電話、来訪、または職員・相談員が巡回をしている際に、ご相談を受け付けています。

受けられる仕事の範囲や技術分野などをデータベースに登録しておき、依頼案件があった際などに優先的にご紹介します。



紹介・対応可能業種

板金・製缶／マシニング／ワイヤーカット／放電／鍛造／鋳造／バネ／樹脂切削／射出成型／圧縮成形／真空・圧空成型／研削／プリント基板／電気部品／メッキ・アルマイト／塗装／印刷／設計・開発／ソフトウェア／最終製品・装置／その他

※相談・あっせん等は無料です

経験豊富な専門職員による 取引拡大事業・新事業展開支援

新規顧客の開拓や新たな事業展開など、区内企業の取引促進機会の拡大に向けた様々な事業を推進しています。

展示会の運営、出展支援

自主開催の展示会や商談会だけでなく、他の展示会等に区内企業と共同で出展する「共同出展事業」も行っています。

各種セミナー・ワークショップ

各界の識者などを招いて、次世代産業や先端科学分野などの各種セミナー・ワークショップなどを開催しています。

また、羽田という立地ポテンシャルを活かし、新たな領域へチャレンジする方を支援するプロジェクトとして、「HANEDA 共創プラットフォーム」を立ち上げました。

現在、「グローバルビジネス勉強会」「ベンチャーフレンドリー塾」「自社商品のつくりにかた勉強会」の3つの取組を行っています。

海外展開支援

区内企業の海外取引へのチャレンジを応援しています。貿易実務に関する手引きから、海外展開に関する相談まで、国際化のステップに応じて、幅広い支援を行っています。

羽田イノベーションシティ内「PiO PARK」には、海外ビジネス相談員が在籍していますので、お気軽にご相談ください。

研究開発型企业ガイド

企業や大学の研究開発者に、研究装置開発や試作開発、共同研究のパートナーとなる開発力の高い区内企業を紹介します。（無料）



区内企業を称え、事業の推進やモチベーションにつなげる 表彰制度

「大田区優工場」認定制度

人とまちに優しい、経営力のある区内の工場を、「優工場」として認定します。



大田区中小企業 新製品・新技術コンクール

秀でた新製品や新技術を開発した区内企業を表彰し、その開発力・技術力を広く内外にアピールします。



持続的な経営のための基盤強化をサポート

事業を継続し、発展させていくためには不可欠な人材確保や育成、事業承継、融資あっせんなど、企業の経営基盤を強化するための支援を行います。区内中小企業の経営者や創業者が直面する様々な課題に合わせて、情報提供や相談に応じています。

次世代を担う子どもから現場の技術者まで「ものづくり人材育成支援」

成人の方を対象とした事業

新入社員研修や技術講習会、経営者育成セミナー等の開催により、経営者や社員に対して、技術やビジネススキルの向上を図ります。

また、工業団体が企画する人材の育成・確保のための研修会や講習会の経費を支援するなど、次の時代を担う人材育成のための事業を実施しています。



新入社員研修

子どもを対象とした事業

将来の地域産業を担う子どもたちに対して、区内のものづくりに接して楽しむ機会を増やし、区内産業に対する興味や関心を高めることで、将来のものづくり人材につなげていきます。

また、地域のものづくり企業には、日ごろから学校の視察やものづくり体験、オープンファクトリーをはじめとしたイベントなどに協力いただいています。ものづくりのまちならではの地元企業と地域社会のつながりがあります。



産業のまち発見隊

ものづくり産業の土台となる「ものづくり人材確保支援」

若者と中小企業のマッチング事業

次世代を担う若手人材を確保するため、教育機関やハローワーク等と連携し、区内企業に魅力ある人材確保支援事業を提案・提供していきます。

区内企業の採用力向上のためのワークショップ開催、大学や専門学校及びハローワーク等が実施する合同企業説明会への参加、職業訓練校との連携などを行っています。

求人情報サイト「おしごとナビ大田区」

インターネット上で、区内の中小企業の求人情報と企業PRを行う場を提供し、掲載企業の求人活動を支援します。

■対象企業

区内企業 ※ものづくり企業以外でも掲載可能です。



掲載希望の企業は、「おしごとナビ大田区」サイトトップページにある「掲載希望の方へ」をクリックし、資料請求をしてください。



+WORK 事業（内職あっせん相談）

在宅で行う単純作業の内職を依頼した企業に、大田区在住の求職者を紹介します。

大田区産業プラザを拠点としたワンストップによる「事業承継支援」

企業の事業承継に関する様々な課題に対して支援をしていくために、区内の支援者を中心とした大田区事業承継協議会を立ち上げ、区内企業の円滑な事業承継を促進しています。

事業者が事業承継に対する意識を高め、できるだけ早く準備を始められるように、適切な支援機関、窓口をご案内します。

＜事業承継協議会 構成員＞

大田区産業経済部産業振興課
公益財団法人大田区産業振興協会
公益財団法人東京都中小企業振興公社 城南支社
東京商工会議所 大田支部
一般社団法人大田工業連合会
大田区商店街連合会

ものづくり企業の設備投資に特に手厚い「融資制度」

大田区では、区内中小企業者の経営改善や設備の向上等に必要な事業資金として、低利で利用できる各種の融資を取扱金融機関にあっせんしています。開業や運転資金、設備資金、経営強化などさまざまメニューを準備していますので、状況に合わせてご活用ください。

SDGs・脱炭素推進企業支援資金

■融資あっせん対象

特定低公害・低燃費車（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第35条に規定する特定低公害車、低燃費車）の購入可能な期間は令和6年4月～令和8年3月末までになります。



チャレンジ企業応援資金

■融資限度額 5,000万円

■利子補給率 全額

■あっせん対象

次の①～④のいずれかに該当する経営革新を資金使途とした設備・運転資金であること。

- ①近代化又は省エネ化を目的とした機械設備・情報システム等の導入資金
- ②区内店舗の新設・改装・バリアフリー化に要する資金
- ③(公財) 大田区産業振興協会の支援を受け、新製品又は新技術の開発を行なった者が市場開拓又は参入に要する資金
- ④事業多角化に要する資金

■特例

(公財) 大田区産業振興協会の事業「優工場」に認定され、認定期間5年以内にある場合は、中小企業診断士による経営診断や融資実行から概ね半年後の状況確認が免除されます。

注) 本制度は、区が直接融資するものではなく、融資実行の可否及び融資額については金融機関等の審査によりますので詳細については、区HP等をご確認ください。



広域ビジネスにつながる「産業のまちネットワーク推進協議会」

「産業のまち」といわれる中小企業（製造業）が集積する自治体で構成し、平成8年に設立しました。

産業政策担当者の交流により各自治体の産業政策上の課題解決を促し、企業や研究者との連携、地域間企業ネットワークの推進を図り、地域経済の発展に寄与することを目的としています。

産業のまちネットワーク推進協議会加盟都市（自治体）

※令和7年3月31日時点

米沢市、いわき市、太田市、桐生市、柏崎市、諏訪市、坂城町、伊那市、飯田市、板橋区、相模原市、茅野市、八王子市、富士市、さいたま市、寒川町、門真市、富岡町、大田区、品川区、川崎市（事務局：大田区、品川区、川崎市）